

令和4年 新年ご挨拶

毛呂山町長 井上 健次



令和4年、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民皆様におかれましてはご家族お揃いで新しい年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

令和2年に引き続き、令和3年という1年は全世界が新型コロナウイルスと闘う1年となり、変異株に姿を変えるコロナウイルスに対して「ウィズコロナ」や「ポストコロナ」という言葉が使われるなど、人類とコロナウイルスとの闘いは長期戦を覚悟するまでとなって参りました。

毛呂山町では、令和3年4月27日より80歳以上の高齢者の皆様からワクチン接種を開始することができました。その準備段階では「ワクチン接種の流れ」を町民皆様に動画配信している取り組みがテレビで紹介されるなど、毛呂山町のワクチン接種に対して高い評価をいただくこととなりました。

お陰さまで東公民館での12歳以上の集団接種につきましては、令和3年11月7日で終了することができ、町民皆様のご理

解とご協力に改めて感謝を申し上げます。

■ワクチン接種率

全国平均	77・5%
埼玉県平均	77・3%
毛呂山町	86・1%

※令和3年12月15日現在における2回目接種率です。

なお、3回目のワクチン接種につきましては、東公民館において1月下旬から予定しており、郵送にて皆様にご案内を申し上げます（P10参照）。

■税収面の課題を解決

令和3年の「新年のご挨拶」では「税収減と負担増を覚悟する年」と述べさせていただきましたが、町税では軽自動車税、町たばこ税は増加傾向となり、それ以外の町民税、固定資産税、都市計画税などは予想した通り減少傾向となりました。

令和4年は、税収減などの課題を解決していくために、動きのある企業誘致などによる税収確保を図りつつ、官民連携事業をはじめとして更なる選択と集中による行政運営を進めて参ります。

令和3年の

毛呂山町を振り返って

- 1月・埼玉医科大学グループ男子駅伝部がニューイヤーマラソンに出場を果たす。
- 2月・毛呂山町観光協会が一般社団法人となる。
- ・役場内に新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチームが設置される。
- ・町立小中学校で「GIGAスクール構想」に基づくICTを活用した授業がスタートする。
- 4月・栗田博教育長の退任に伴い、高沢佳弘氏が教育長に就任する。
- ・新型コロナウイルス接種が開始される。
- ・埼玉西部地域消防指令事務協議会調印式が行われる。
- ・役場庁舎1階ロビーに東京2020オリンピック聖火リレーとパラリンピック聖火リレーが展示される。
- 5月・新たな「毛呂山町防災マップ」が作成され全戸配布される。
- ・毛呂山町婚活支援ネットワークが設立される。

東京2020オリンピックで の毛呂山町出身選手の活躍

7月から8月にかけて東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、毛呂山町出身の森さやか選手（ソフトボール）と瀬戸大也選手（競泳男子）の活躍が見られました。

瀬戸大也選手は3種目に出場し、200メートル個人メドレーで4位入賞を果たしました。森さやか選手が出場したソフトボールでは、決勝でアメリカチームに競り勝って優勝し、金メダルを獲得いたしました。

これを記念して日本郵便株式会社から毛呂山町にゴールドポスト（金色の郵便ポスト）の贈呈が行われることとなり、役場庁舎前に設置される予定です。

さらに、毛呂山町ではお二人に特別栄誉賞をお贈りすることが予定されております。

埼玉医科大学グループ 全日本実業団駅伝出場

町内の医療機関である埼玉医科大学では、男子駅伝部が1月

に実業団駅伝日本一を決める大会のニューイヤーク駅伝への出場を果たしました。さらに、女子駅伝部も11月に女子駅伝日本一を決める大会のクイーンズ駅伝の出場を果たしました（P24参照）。

個人住民税の納税率が アップ！

町長に就任した平成23年、毛呂山町の個人住民税の納税率は約88%であり、県内63市町村での順位は43位という結果であったことから、納税率を上げることとを大きな課題として取り組んで参りました。

令和2年度、町民皆様の絶大なるご協力と職員の努力によって、県内市町村で一番のアップ率を実現し、国平均、県平均を上回る納税率97・8%を実現することができ、埼玉県大野知事より表彰されました（P11参照）。

企業進出で税収確保

川角中学校の東側、企業誘致のための東部地区では、「木屋製作所」の操業が平成29年5月

から開始され、この地区に進出を決めているリネン企業「トーカー」においては、本年3月から建屋工事に着手するとの報告がありました。

川角地区から市場地区にある企業誘致「第2東部地区」において、オリックス不動産による物流拠点の開発が進められており、昨年11月12日には建屋工事に入るための安全祈願祭が行われました。令和5年の操業を目指して工事が進められるのとことです（P12参照）。

また、新飯能寄居バイパス沿いの「南部地区」においても企業進出の動きがあり、開発申請を待つ段階となりました。これにより平成20年から毛呂山町が進めていた企業誘致は、全て解決することとなります。また、武州長瀬駅北側の野久保線周辺では大型商業施設の開発が進み、本年6月ごろの開業を目指している報告を受けております。引き続き町民皆様の温かいご支援とご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

・滝ノ入ローズガーデンで埼玉バラハーモニー交流記念樹として伊奈町から贈呈されたバラの植樹が行われる。

6月・「鎌倉街道と古墳の森」保存活用プロジェクトが開始する。

7月・東京2020オリンピックに毛呂山町出身の森さやか選手（ソフトボール）、瀬戸大也選手（競泳男子）が出場し、森選手が金メダル、瀬戸選手が4位入賞を獲得する。

8月・東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「毛呂山の火」の点火式が総合公園で行われる。

・第1回毛呂山町ビジネスコンテストが開催される。

9月・毛呂山町社会福祉協議会とセブンイレブン毛呂山埼玉医大南店が協同し、移動販売を開始する。

10月・水道料金が改定される。

・全日本卓球選手権大会（カデットの部）13歳以下女子シングルスで植田杏さんが3位になる。

11月・埼玉医科大学グループ女子駅伝部がクイーンズ駅伝に初出場する。

・小中一貫教育連絡橋「もろっ子橋」が完成する。